

- 〈記入方法〉
- ・取組指標は、基準に沿ってAまたはBのいずれかを評価欄に記入する。
 - ・成果指標は、取組指標でAと評価した項目について、基準に沿ってA～Eのどれか一つを評価欄に記入する。
 - ・記述欄には、情報交流したい内容について記述する。（例：子供の変容をどのように把握しているのか。必要とする情報を、どのようにWebページから見付けたり収集したりするのか。）

事業	取組指標	基準	評価欄	成果指標	基準	評価欄	自由記述欄
研修							
・調査協力	○ 教育研究所・研修センターの調査等に進んで協力している。 （例：研修講座に関するアンケートへの回答、学校への調査依頼の協力 など）	A 協力している B 協力していない	A	○ 調査結果を反映している研修講座の開設数	A とても多い B 多い C 少ない D とても少ない E 分からない	B	
・研修体制	○ 研修講座に参加しやすい校内体制を整えている。 （例：研修講座の案内回覧、受講の奨励、受講時の補欠体制への協力、教育研究所・研修センター担当係の設置 など）	A 整えている B 整えていない	A	○ 研修講座の受講者数や受講回数	A とても多い B 多い C 少ない D とても少ない E 分からない	C	○ 研修講座の案内を回覧するとともに、職員が手に取りやすい場所に置いている。 ○ 次年度、研修講座の申込みの締切が近付いたら、再度案内をする予定である。
・研修内容の活用	○ 校内研修を充実したり、授業改善を図ったりするために、教育研究所・研修センターの研修内容を活用している。 （例：講座内容の還流、校内研修での紹介など）	A 活用している B 活用していない	A	○ 研修講座の内容を授業や指導の改善に生かしたことによる、子供たちの変容状況	A 大きな変容が見られた B 変容が見られた C 今後変容が期待される D 変化がない E 分からない	B	
研究							
・教育研究所・研修センターの研究事業への協力	○ 教育研究所・研修センターの研究事業と連携しやすい校内体制を整えている。 （例：所員・研究員の選出、研究協力、教育研究所・研修センターの研究内容の紹介・活用など）	A 整えている B 整えていない	B	○ 教育研究所・研修センターの研究内容を活用したことによる、校内研修（研究）の充実度	A とても充実した B 充実した C あまり充実しなかった D 充実しなかった E 分からない		
広報							
・所報の活用	○ 所報を配付したり回覧したりするなどして、教育研究所・研修センターの取組を学校全体で確認している。	A 確認している B 確認していない	A	○ 指導案や指導資料を所報から入手したことによる、授業や指導の改善の状況	A 大きな改善が見られた B 改善が見られた C あまり改善が見られなかった D 改善が見られなかった E 分からない	E	○ 教育研究所・研修センターの取組の活用は一人一人に任されているため、校内全体で活用の成果を把握する手立てを講じる必要がある。
・Webページの活用	○ Webページで定期的に閲覧するなどして、教育研究所・研修センターの取組を確認し、情報を得ている。	A 得ている B 得ていない	A	○ 指導案や指導資料をWebページから入手したことによる、授業や指導の改善状況	A 大きな改善が見られた B 改善が見られた C あまり改善が見られなかった D 改善が見られなかった E 分からない	E	○ 所報の活用と同じである。

取り組んだ項目について成果の自己評価を行う。